



「名駅前広場再整備プラン 中間とりまとめ」市が発表 東に大屋根、西は南北にビル

新交通システム SRT のイメージ図

二〇二七年リニア新幹線開業に向け名古屋駅周辺再整備を目指す名古屋市は先ごろ、「名駅前広場再整備プラン」の中間とりまとめを発表した。同プランは一四年九月、「世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤ」を目標にした名駅周辺まちづくり構想などに基づき協議・検討してまとめたもので①駅前広場再整備の基本コンセプト、②東エリアの再整備の方向性、③西エリアの検討の方向性——が内容。今後、東エリアは一九年度中に都市計画手続きを進める一方、西エリアでは民間事業者との検討などを経て二七年リニア開業までの完成を目指す。

名古屋市住宅都市局リニア関連
都心開発部が発表した同中間とり
まとめの基本コンセプトは①スー
パーターミナル駅にふさわしい高
機能性、②世界の目的地・名古屋
の新しい顔づくり。

それに基づき東エリアは駅前
ロータリーを現在あるステンレス
モニュメント「飛翔」の撤去で広
場を広げ、見通しをよくしたうえ、
現状のタクシーと一般車の混在を
分離。さらに「顔づくり」として
広場を名古屋の発信・演出ができ
る緑豊かな象徴空間とする一方、
雨天時にも対応できる大屋根の設
置も検討する。

またJR名古屋駅内のセントラ
ルタワーズ南に新たに東西通路を

設け、名鉄・近鉄との地表での乗
り換え、市街地への動線を創出す
る。同時に東エリア地表から地下
鉄や名鉄、近鉄への改札を見通せ
るように整備し、現在の「迷駅」
状態を改善しスムーズにする。

西エリアは現在のJR名古屋駅
中央コンコース新幹線口西に中央
広場を新設しタクシー、一般車混
在を分離し北側にタクシー、南側
一般車スペースとする。同時に両
スペースにビルを建て都市機能の
高度化を図るよう民間業者などを
誘導する。また現在西エリア地表
にある高速バス・観光バスの乗降
場は地下空間に設ける。そして将
来、先ごろ開通した名駅南西の笹
島ライブから伸びるアンダーパス